



▲海岸での安全監視・救助等を専門に行うライフセーバーに、木戸浜海岸の監視業務を委託しました。監視を続けるその姿は真剣そのもの。

まちの家計簿

VOL.4

平成7年度上半期の財政状況 収入と事業執行ともに順調

今年度の上半期の町の財政状況は、予算額の約53%が収入済、約34%が支出済となっており、収入状況及び事業執行状況ともに順調に推移しています。

今月号では、平成7年度

上半期の財政状況をお知らせします。具体的には、収入や支出の計画に対して、9月末までにどれ位の収入があつて、どれ位支出したのか、また、町が持っている土地や建物、基金などの財産がどれ位あつて、町の借りているお金がどれ位あるのかをお知らせします。「つまらなそうだなあ」と思わずにぜひご覧ください。

歳入

一般会計の歳入をみると、全体の収入計画に対して52・5%が収入済となっており、予定どおり順調にお金が入ってきていると言えます。参考までに近年の状況と比較してみると、平成5年度の同時期で39・7%、昨年度は49・6%でした。

一般財源

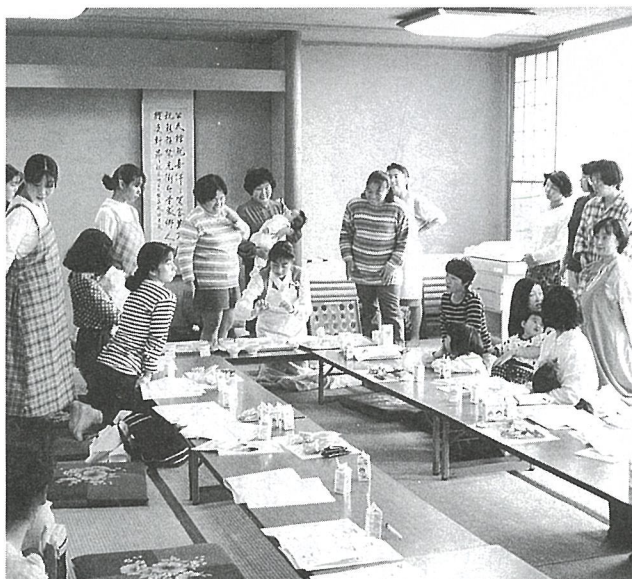
10ページのグラフをみると、一般会計の歳入の中でも地方交付税や町税、繰越金の収入率が高いことがわかります。これらは一般財源と言われるもので、使い道が特定されずに入ってくるお金のことです。

地方交付税とは

光町の一般財源の中で、一番金額の大きい地方交付税とはどういうものかご存じですか。簡単に説明すると、町が行う事業や事務処理のための経費のうち、国や県からの補助金等の特定財源により賄われるもの以外は、みなさんが納める町税によって賄われていますが、町税だけでは足りない部分を国から交付税としてもらうことができます。注意しなければいけないのは、たくさんのお金を使つて多くの事業を行った



▲各小学校で行っている図書館・海洋センターでの授業の送迎のため、民間バスを借り上げています。上半期では57回の利用がありました。



▲和やかなムードの中、離乳食について町の栄養士の説明を聞くみなさん、育児学級での1コマです。この他、さまざまな保健事業を行っています。